

滋賀県の地震

令和 6 年(2024 年)2 月

目 次

1 滋賀県の地震活動

(1)震央分布図	-----	1
(2)概況	-----	1
(3)断面図	-----	2
(4)滋賀県で震度1以上を観測した地震の表	-----	3
(5)滋賀県で震度1以上を観測した地震の震度分布図	-----	4

2 琵琶湖西岸断層帯周辺の地震活動

(1)震央分布図・時空間分布図・地震活動経過図	-----	5
(2)概況	-----	5

3 地震一口メモ

海底に設置された地震・津波観測点について	-----	6
----------------------	-------	---

「滋賀県の地震」は彦根地方気象台における地震業務の一環として、県下の皆様に県内の地震活動状況をお知らせするとともに、防災知識の普及に努め、皆様のお役に立てることを目的とし、毎月刊行しています。

「滋賀県の地震」は上記目次で構成し、適宜地震活動把握のための解説資料や用語解説等を掲載します。
本資料に関する問い合わせは「彦根地方気象台（電話 0749-22-6142）」にお願いします。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

滋賀県内の震度情報発表地点は彦根地方気象台ホームページに掲載しています。

<https://www.data.jma.go.jp/hikone/seismo/seismo.html>

本資料の震源要素及び震度データは、後日再調査の上修正されることがあります。

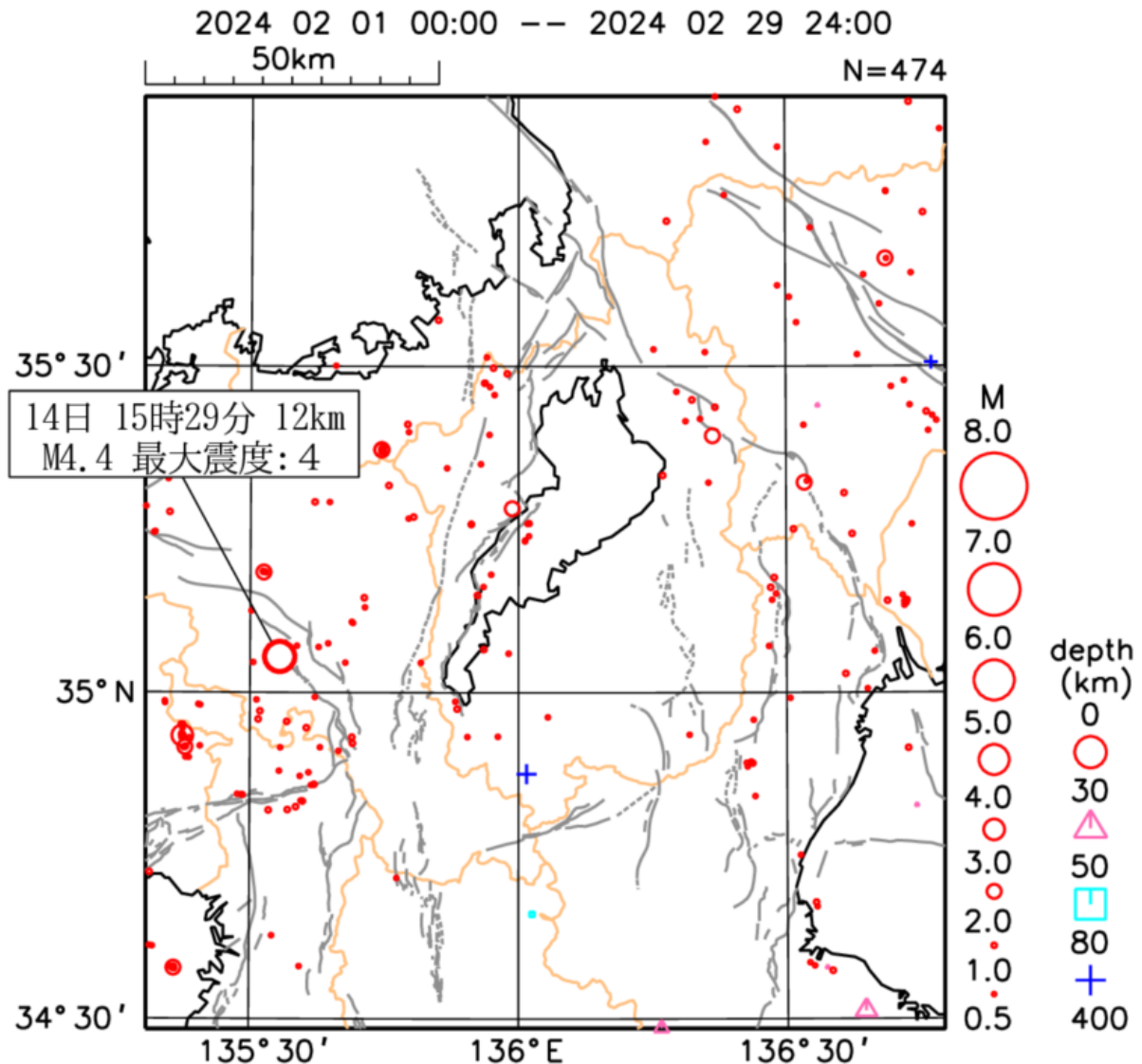
全国の地震火山活動概況、震源要素、震度データは気象庁ホームページに掲載しています。以下のアドレス「地震・津波・火山」からお知りになりたい項目をクリックしてください。

<https://www.jma.go.jp/jma/menu/menureport.html>

彦根地方気象台

1 滋賀県の地震活動(令和 6 年 2 月)

(1) 震央分布図



震央分布図は、地図上に地震の震央を表示したもので、地震の活動を示すものです。

シンボルマークの位置により「緯度、経度」、大きさにより「地震の規模（マグニチュード）」、形状により「震源の深さ（km）」を表現しています。マグニチュード（M）とシンボルマークの大小、震源の深さ（depth）とシンボルマークの形状の対応は震央分布図の右側の凡例のとおりです。

図中の灰色の折線は、地震調査研究推進本部による主要な断層帯の概略位置です。線種は活断層の存在の確実度（実線部＞破線部）を表しています。

滋賀県で震度1以上を観測した地震には、日時・震源の深さ・マグニチュード・最大震度を付記しています（最大震度はその地震で観測された最も大きな震度で、滋賀県内の最大震度とは限りません）。

震央地名は経緯度の格子で区切っているため、県境付近では行政区域の境界と正確に一致しないことがあります。

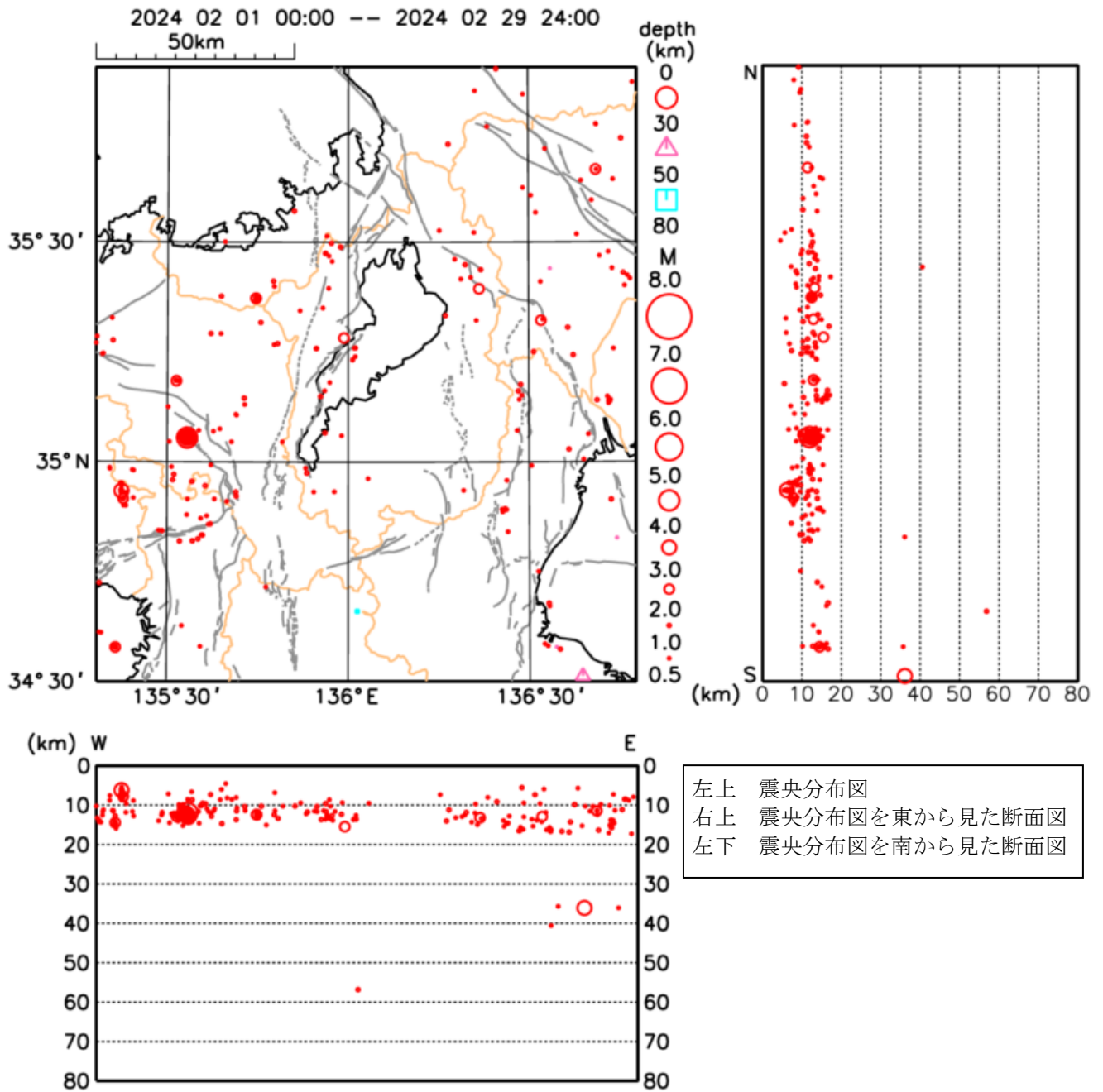
(2) 概況

2月に震央分布図内で震源決定できたM2.0以上の地震は31回（前月9回）でした。滋賀県内で震度1以上の揺れを観測した地震は1回（前月17回）でした。

滋賀県内で震度1以上を観測した地震は、以下の通りです。

14日15時29分 京都府南部の地震（M4.4）：高島市、大津市、草津市、栗東市、湖南市、甲賀市、東近江市で震度2、他11市町で震度1

(3) 断面図(深さ 80km までの地震)



【解説】

深さ数 km～約 20km に分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震（地殻内地震）、深さ約 30km～約 60km に分布している地震は主として沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

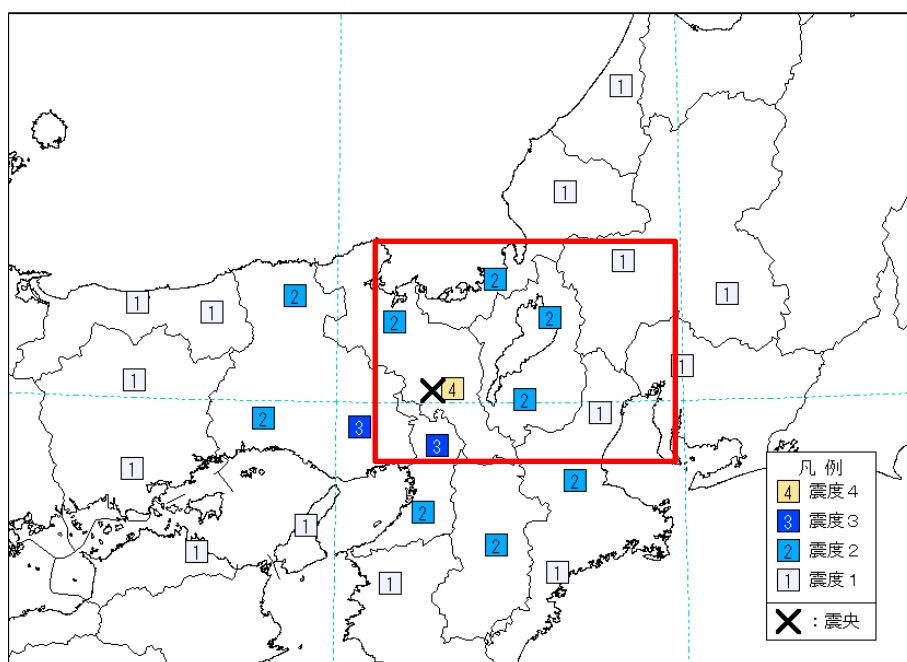
(4) 滋賀県で震度1以上を観測した地震の表

発震日時 各地の震度（滋賀県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2024年02月14日15時29分	京都府南部	35° 03.2' N	135° 33.3' E	12km	M4.4
----- 地点震度 -----					
滋賀県	震度 2 : 高島市朽木柏＊, 高島市勝野＊, 大津市御陵町 , 大津市南小松 , 大津市国分＊ 大津市南郷＊, 草津市草津＊, 栗東市安養寺＊, 湖南市中央森北公園＊ 湖南市石部中央西庁舎＊, 湖南市中央東庁舎＊, 甲賀市甲賀町大久保＊ 甲賀市信楽町＊, 東近江市上二俣町＊				
	震度 1 : 彦根市城町 , 彦根市西今町＊, 長浜市公園町＊, 長浜市内保町＊, 長浜市西浅井町大浦＊ 長浜市八幡東町＊, 長浜市宮部町＊, 長浜市難波町＊, 豊郷町石畑＊, 甲良町在土＊ 多賀町多賀＊, 高島市今津町日置前＊, 高島市マキノ町＊, 高島市朽木市場＊ 高島市新旭町＊, 高島市安曇川町＊, 高島市今津町弘川＊, 愛荘町安孫子＊ 愛荘町愛知川＊, 大津市木戸消防分団＊, 大津市真野＊, 近江八幡市桜宮町 近江八幡市出町＊, 守山市石田町＊, 滋賀日野町河原＊, 竜王町小口＊, 野洲市西河原＊ 野洲市小篠原＊, 甲賀市水口町 , 甲賀市土山町＊, 甲賀市甲南町＊, 甲賀市甲賀町相模＊ 東近江市池庄町＊, 東近江市市子川原町＊, 東近江市五個荘小幡町＊				

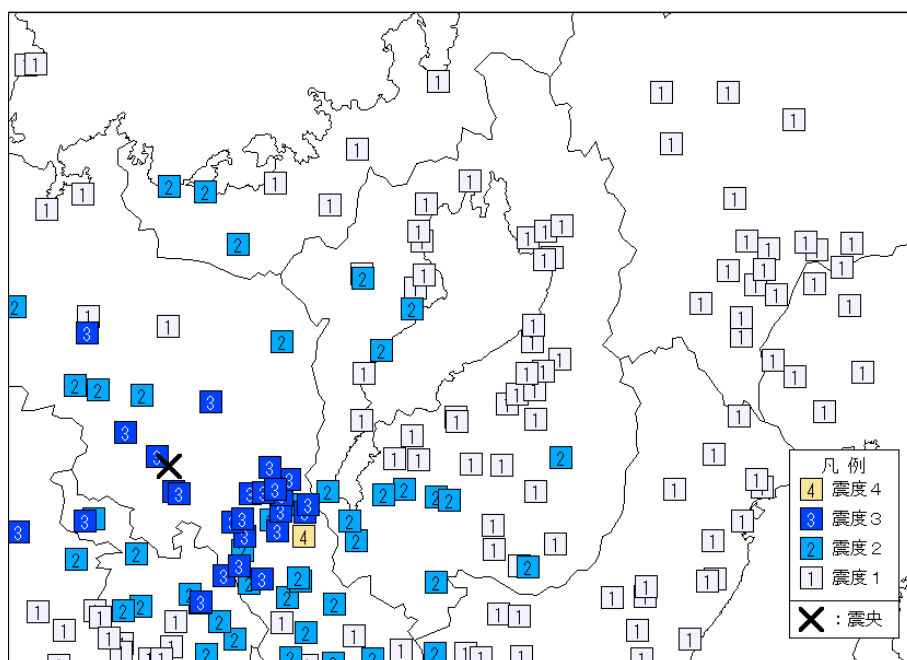
※ 太字の地点は気象庁の震度観測点、名称の末尾に＊がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

(5) 滋賀県で震度1以上を観測した地震の震度分布

2024年2月14日15時29分 京都府南部 (M4.4)



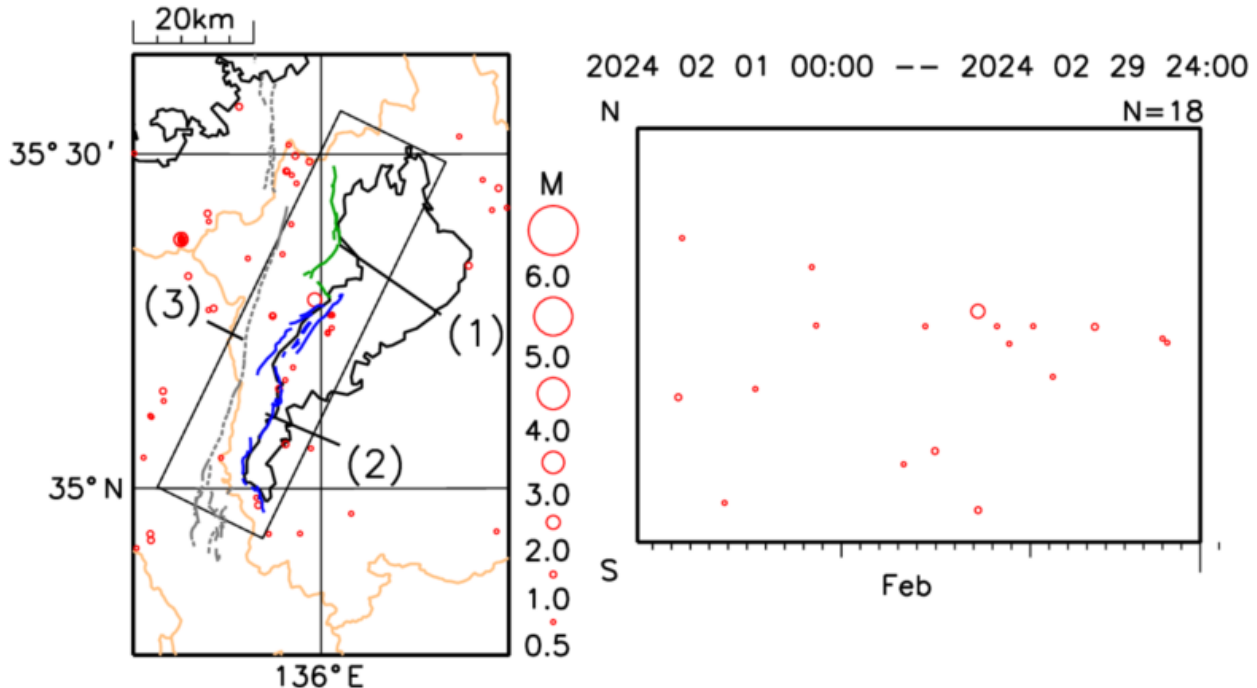
各地域の震度分布図 (×印は震央位置)



各観測点の震度分布図 (各地域の震度分布図中の赤矩形領域内)

2 琵琶湖西岸断層帯周辺の地震活動(令和 6 年 2 月)

(1) 震央分布図・時空間分布図・地震活動経過図(深さ 30km までの地震)



(上) 震央分布図

深さ 30km 以浅の地震を表示。断層帯に沿った矩形領域内の地震の活動経過を右に表示。

図中の太線は、断層帯の概略位置。線種は活断層の存在の確実度(実線部>破線部)を表しています。

- (1) 琵琶湖西岸断層帯北部
- (2) 琵琶湖西岸断層帯南部
- (3) 三方・花折断層帯

(右上) 時空間分布図

震央分布図の矩形領域内の地震を南北の軸(縦軸)に投影し、横軸に日時をとり、それぞれの地震を表示した図。

(右下) 地震活動経過図(規模別)

震央分布図の矩形領域内の地震について、縦軸にマグニチュード、横軸に日時をとり、それぞれの地震を表示した図。

琵琶湖西岸断層帯について

琵琶湖西岸断層帯は、滋賀県高島市(旧マキノ町)から大津市国分付近に至る断層帯です。全体として長さは約 59km で、北北東-南南西方向に延びており、断層の西側が東側に対して相対的に隆起する逆断層です。

琵琶湖西岸断層帯は、断層帯北部と南部の 2 つの区間に分かれて活動すると推定されますが、全体が 1 つの区間として活動する可能性もあります。

断層帯北部では M7.1 程度の地震が発生すると推定され、今後 30 年以内にそのような地震が発生する確率は 1~3% と推定されます。

断層帯南部では M7.5 程度の地震が発生すると推定され、今後 30 年以内にそのような地震が発生する確率はほぼ 0% と推定されます。

(地震調査研究推進本部の長期評価(2009)による。ただし、地震発生確率の算定基準日は 2024 年 1 月 1 日。)

(2) 概況

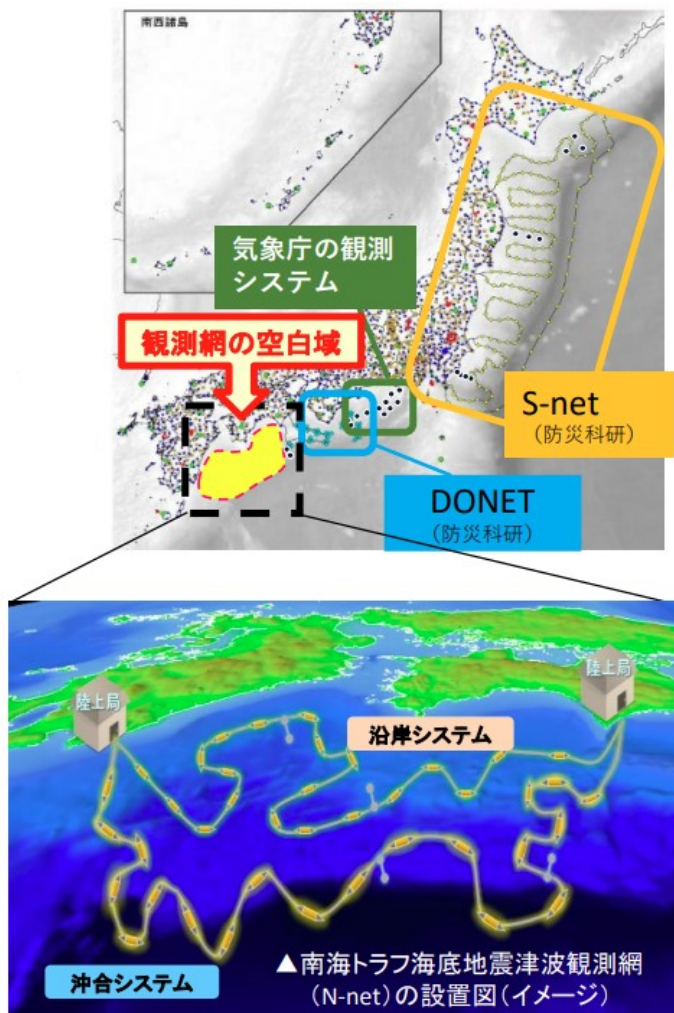
2 月に震央分布図中の矩形領域内で観測された M2.0 以上の地震は 1 回(前月 0 回)で、同領域内の地震で震度 1 以上の揺れは観測されませんでした。

3 地震一口メモ

海底に設置された地震・津波観測点について

気象庁では日本周辺で発生する地震・津波を監視するために全国に設置した地震計や津波観測施設などの観測データを24時間体制で監視しています。このうち海域で発生する地震は陸地から離れた場所のため、付近に地震計が少なく精密な観測が難しいという問題があります。2011年の東北地方太平洋沖地震も踏まえ、近年は日本海溝や南海トラフに新たな海底地震計を設置しています。この海底地震計には津波を観測する機能もあるため、地震発生時にはいち早く津波を観測することもできます。

現在、南海トラフ領域には気象庁の東南海ケーブル式常時海底地震観測システム、防災科学技術研究所の地震・津波観測監視システム(DONET)が運用されており、地震・津波の監視や緊急地震速報にも活用されています。更に、防災科学技術研究所では、高知県沖から日向灘にかけて新たに南海トラフ海底地震津波観測網(N-net)を整備中です。N-netの整備により、より詳細な地震活動の監視や津波情報の高精度化・迅速化が期待されています。



文部科学省
防災科学技術委員会資料より

気象庁HP 地震・津波の観測監視体制

<https://www.data.jma.go.jp/egev/data/monitor/index.html>

防災科学技術研究所HP 地震・津波観測監視システム: DONET

<https://www.seafloor.bosai.go.jp/DONET/>

文部科学省 防災科学技術委員会 (第57回) 会議資料 N-net構築 進展説明資料

https://www.mext.go.jp/kaigisiryoo/content/20221214-mxt_jishin01-000026694_5.pdf